

Course number		U-LAS01 10007 LJ38					
Course title (and course title in English)		西洋史 I Western History I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, FUKUMOTO KENSHI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2026・First semester	
Days and periods		Tue.5/Thu.3		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
歴史知は、現代世界が抱える諸問題をよりよく理解するうえで欠かせないのみならず、個々人を現代世界とつなぐ役割を果たす。本講義では、「世界の構造化」、「国民という難問」、「記憶の戦争」のテーマごとに西洋世界の近現代史を重層的に論じる。 このことを通じて、一九・二〇世紀を中心に、様々な差別の生成・展開や、ナショナリズムの成立と伝播、歴史認識をめぐる対立と和解について学び、いま私たちが生きている世界がどのようにして成立したのかを論理的に考える視座に立てるようになると同時に、一方的に支配や抑圧が広がったのではなく、いかにしてそれへの抵抗や自立の動きも生まれたのかも考察できるようになる。暗記ではない歴史学の奥深さや意義について知ってもらうことが、本講義の目的である。							
[Course objectives]							
西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、外国の文化や歴史に開かれた態度を取れるようになるとともに、歴史学的視座にたって現代世界の問題を考察できるようになる。							
[Course schedule and contents]							
授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。 1. イントロダクション 【A. 世界の構造化】 2. 大西洋三角貿易 3. 人権の創造 4. 産業革命 5. 帝国と植民地 6. 帝国と国連 【B. 国民という難問】 7. フランス革命 8. 「歴史なき民」 9. 労働者インターナショナル 10. 第一次世界大戦 【C. 記憶の戦争】 11. ロシア革命							
Continue to 西洋史Ⅰ(2) ↓ ↓ ↓							

西洋史Ⅰ(2)

- 1 2. ナチズム
- 1 3. ホロコースト
- 1 4. 歴史と記憶
- 1 5. フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末筆記試験（100点）で評価する。論述形式で、講義内容の理解や、設問に対する解答の論理性および独創性を評価する。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]